

用語	用語の意味 (法令上の根拠)	評価項目(防災用語の要件)						用語の問題点	用語改善案	改善案の理由	
		短い	耳で理解	一般語句	危険レベル	受け手の状況	意味が明確			◎専門家の間で使用する用語自体を変更 ○防災用語としては使用せず、「言い換える」が専門用語として使用 □用語は変えず、補足説明 ■変更しない	
余裕高 (報・説)	計画高水位に達した水が波うったり、流木などが流れてきても安全なように堤防の高さに持たせた余裕。	-	-	×	-	-	×	河川管理者間で通称として用いられている用語であり、一般には意味が理解できないだけでなく、「余裕」という語句が誤解を招く恐れがある。	堤防設計加算高 うねり・流下物対応高(部)	案1)堤防の安全設計上、うねりや流木等の流下に対応するため計画高水位の上に加算する高さであるという意味を直接表現する。 案2)うねりや流木等の流下物に対応するために必要な高さ、あるいは部分であることを明示する。	◎
ただし書き 操作 (報・緊)	ダムが満水になる見込みとなった時の操作(ダムの操作規則において、「ただし、気象、水象その他の状況により特に必要と認める場合」として規定されているため「ただし書き操作」と呼ばれる)。	×	×	×	×	×	-	河川管理者間の通称である上に漠然としており、意味が全く理解できないだけでなく、想定外の操作を行うような印象を与える。	自然放流操作 (例:ダムが満水になる見込みなのでダムへの流入量とダムからの放流量を等しくする自然放流操作を行う。) ゼロカット操作 (例:ダムが満水になる見込みなのでダムによる洪水調節をしない(ゼロカット)状態に移行するゼロカット操作を行う。) 貯留限界操作 (例:ダムが貯留能力の限界に達する見込みなので流入量と放流量を等しくする貯留限界操作を行う。)	案1)ダムが流入量＝放流量の自然状態での放流へ移行するための操作がわかるようにする。ただし、用語単独では状況を理解しにくいいため、全体の状況を説明する文中で使用する。 案2)ダムが洪水調節を行わない状態となることをわかるようにする。ただし、用語単独では状況を理解しにくいいため、全体の状況を説明する文中で使用する。 案3)ダムの容量が限界に達する見込みのときに実施する操作であることがわかるようにする。	◎ ◎ ◎

般 … 一般
報 … 報道機関
防 … 防災担当者

緊 … 緊急的な対応を促す用語
注 … 危険回避のための準備・注意喚起をする用語
説 … 状況を説明するために用いる用語

短い … 短い、なるべく短い
耳で理解 … 耳で聞いてわかる
一般語句 … 一般的な語句で構成される
危険レベル … 危険レベルをイメージできる、災害の状況、危険レベルがわかる。
受け手の状況 … 受け手側の(被災)状況に合わせている
意味が明確 … 意味が明確な表現になっている